

南日本新聞の「若い目特集」に本校生徒が掲載されましたので紹介します。

ひろば 若い目特集

少しずつ知識蓄え大人への準備

薩摩中央高2年

野元 愛華

私は感染予防の対策は行いながらも、人ごとのように考えていた。身近に新型コロナウイルスが感染している人はいない。これまでの

し、行動の規制に不自由を感じていなかったからだ。しかし最近、大都市の「緊急事態宣言」や「時短営業」は、家業の畜産業に大きな影響があったと親から聞いた。人ごとではなかった。

高校2年生になり、政治経済を学び始めた。社会の出来事と自分とのつながりをより考えるようになった。「1年後、私には選挙権がある。選挙に行くんだ」と思うと、新聞やニュース番組が気になるり始めた。今の社会の状況は、いずれ私と深く関係するかもしれない。私にとって社会に出る

ことは大きな不安ではない。それなのに、社会の出来事を人ごとのように考えてしまうことは矛盾していると思う。地域や社会で起こることに関心を蓄え、大人への準備を始めたい。(さつま町)

し、行動の規制に不自由を感じていなかったからだ。しかし最近、大都市の「緊急事態宣言」や「時短営業」は、家業の畜産業に大きな影響があったと親から聞いた。人ごとではなかった。